

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体		
校区地区防災計画策定支援に向けたモデル事業			美原区役所企画総務課		
事業目的	事業効果	活動指標	H31		
校区自主防災組織が主体となって地域の特性を踏まえた実践的な地区防災計画素案の作成を行うことで、地域コミュニティを活性化させ地域防災力を向上させることを目的とする。	地区防災計画素案の策定を支援することにより、地域防災力の向上を図り、安全、安心なまちづくりにつなげる。	ワークショップ参加者数(人)	約50人		
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 行政により策定した地域防災計画に基づき、地域住民自らが地域の実情に合わせた地区防災計画を作成することにより、自助・共助の意識を醸成を図り、防災や減災につなげることができる。	◎ 住民が主体となってワークショップや訓練を行うことで、地域の実情に合わせた地区防災計画素案を策定することができた。	○ 防災に対する区民の意識が高まりつつある中で、本事業を通じて地域の実情に応じたきめ細やかな内容の「防災のしおり」を作成することができた。	○	業務を委託することで、ワークショップや訓練をスムーズに行い、短期間で効率良く地区防災計画素案を策定することができた。	
⑤自立発展性	総合評価				
◎ 今後は地区自身が地区防災計画素案に基づいて実際に防災活動を実践し、同素案の定期的な評価や見直しを継続的に行う予定である。	○	平尾校区で実施し、指定避難所の開設、運用における行政との連携や協働のあり方について、自主防災組織や地域の団体など関係機関を含めてワークショップや訓練を行うことにより、校区の現状や課題を分析し、校区の実情に応じた地区防災計画素案を策定することができた。			
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	地区防災計画素案は策定済であり、今後は堺市防災会議への提案のみである。				